

2 目標達成計画

作成日: 令和3年12月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19・20	コロナの影響により、面会や家族を交えたケース会議の開催が難しくなっている。また、大切にしてきた馴染みの人や場所との交流が難しい状況である。	家族がともに入居者を支えているということが伝わるような働きかけを行う。手紙や年賀状、電話を通じて、馴染みの人との関係を継続していく。	家族や馴染みの方との電話の際に、入居者との時間を作れるように電話の時間に配慮する。日用品持参の際に、扉越での面会を提案する。こちらから提案する前に、家族の意向の確認をする。また、入居者から家族に伝えたいことがないかを確認し、電話や手紙で伝えていく。家族から馴染みの方の連絡先を確認する。	12か月
2	21	年齢や世代の違い、考え方の相違で入居者が孤立していると感じている方がいる。	不満解消とはなくても、相手に対するマイナスな印象を和らげる。	不満等を傾聴しつつ、全ての理解をしてもらうことよりも、ある程度距離を保ちながら同じ空間で共通の話題や行事、余暇等を職員と一緒に言い、楽しい気持ちを共有できるようにする。	6か月
3	33	重度化についての確認を家族に行っているが、入居者の意向を確認できていない。	入居者が重度化したときや、死についての考え方を確認し、家族に報告する。	新聞のお悔やみ欄を見たり、入居者からそのような話題が出たときには、担当が主となって本心を確認する。最近、終活についてテレビや新聞で取り上げられているので、そのような話題を活用していく。	6か月
4		意見箱の設置があるが、意見を出しにくい可能性があるため、少しのことでも気軽に伝えられる取り組みが必要である。	家族の意見や意向の収集力を身につける。	家族との電話の際に、まずは話を聞く。コロナ禍で面会ができないため、連絡をする際は聞き取った内容を記録に残す。	か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。